

# スプレー缶のガス排出・ 廃棄方法には十分ご注意ください！！

令和元年7月6日、大阪府高槻市にてスプレー缶のガス抜き作業中に、滞留したガスに引火したとみられる爆発火災が発生しました。

平成30年12月には札幌市豊平区でも同様の爆発火災が発生しています。

## 内容物のガスに引火し爆発を起こす危険性があります！



スプレー缶には内容物の成分として、プロパンやジメチルエーテルなどの可燃性ガスが含まれているものがあります。

- ・ プロパンガスは空気中で約2～10%の濃度、ジメチルエーテルは約3～20%の濃度になっているときに爆発の恐れがあります。
- ・ どちらの可燃性ガスも空気より重たいため、下方に滞留する性質があります。

危険ごみ（スプレー缶等）は、中身を使い切りましょう。穴をあけなくても回収しています。透明又は半透明の袋に入れて出しましょう。また、使い切れずに残ってしまった中身の排出は、**火の気がなく風通しの良い屋外**で行いましょう。屋内で中身を排出するとガスが滞留し、近くの火気や静電気で引火する恐れがあり大変危険です。

危険ごみに関するの詳細は、各市町村のホームページにてご確認ください。

[石狩市HP](#) [当別町HP](#) [新篠津村HP](#)